

学校自慢

つながりを大切に ～主体的に活動する生徒を育成する～

柏市立豊四季中学校校長 のぐち よしみ 野口 好美



1 はじめに

本校は、創立34年目を迎えた、全校生徒565名、学級数18学級の柏市内でも比較的大きな学校である。新型コロナウイルス感染防止対策のため、学校教育活動はこれまでのものとは大きく変化し、生徒・保護者・地域・教職員にとって不安な日々が続いている。そこで、教職員が力を合わせ、工夫した教育活動を展開している。

2 つながり大切に

(1)ICTの活用

生徒が感染症対策のため登校できない時も学校と生徒とのかかわりが途切れないように、教職員の組織体制を構築し、『つながる』を目的とした豊四季中学校GIGAスクール構想を実現させた。タブレットの画面上で、生徒と顔を合わせて活動を行うことで、生徒の明るい笑顔を見ることができた。改めて、学校教育活動には、生徒一人ひとりと『つながる』ことが大切であることを痛感した。



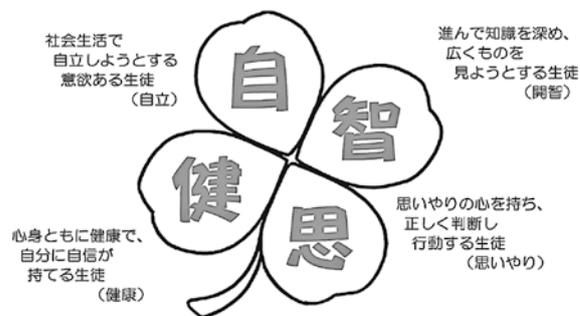
(2)活発な生徒の活動

ICTの活用は、生徒の積極的な活動を促し、次第に、学校教育活動に進んで取り組む生徒たちの良いところが見えてきた。それは、以下の4点である。

- ①明るく活発に学校教育活動ができる。
- ②共に学び、協力しながら活動することができる。
- ③学校が大好きで、仲間を大切にすることができる。

④コロナ禍でも、負けずに体力を鍛え健康に気を付け、今できることを全力で頑張ることができる。

生徒会では、この素晴らしい力をさらに伸ばし、これからの社会を創り出していく自分たちが求められる資質・能力とは何かを全校生徒に問いかけ意見をまとめた。そして、学校教育目標『自立・開智・思いやり・健康』のそれぞれに対して生徒がつける力を、『判断力（自立）・継続力（開智）・団結力（思いやり）・自己管理能力（健康）』と決定した。生徒がつける力を自分たちで考えることにより、学校生活を充実させる意識の向上が図れた。



生徒会役員は、今年度の新入生歓迎会で全校生徒に、学校教育目標と生徒がつける四つの力を丁寧に説明することができた。

3 おわりに

生徒会役員の活躍を通してわかるように、主体的に活動する生徒を育成するには、他者とのつながりを感じながら、自信をもって自己表現する体験を多くさせることが重要である。これからも、教職員が生徒のために一丸となって取り組み、生徒が主体的に活動し『自分たちの力で学校が良くなった』という実感をもたせていきたい。